

- (1) 指数関数の基本事項の理解、整数の性質、場合の数や必要条件十分条件の考え方、分散と標準偏差の関係と活用する力について論理的な記述力とともに問う。
- (2) 図形の特徴を数列によって把握できるかを問い、図形の性質の理解と等比数列および等比数列の和についての理解力と計算力をみる。
- (3) 方程式や不等式が定める図形についての理解度と方程式や不等式を論理的に活用する力をみる。
- (4) 内積などの空間ベクトルの基本を理解し、空間ベクトルを利用して空間図形の特徴をとらえ、三角形の重心、内分点や同一平面上にある点の条件をベクトルによって記述し、実際に空間図形に活用することができるかを問い、論理的に表現できる力をみる。
- (5) 接線の方程式や定積分の計算を通じて、微分や積分についての基本事項の理解度をみるとともに、微分法を用いて関数の増減を調べ応用する力があるかをみる。
- (6) 場合の数および確率に関する基本事項の理解度と応用力を問い、論理的に記述する表現力をみる。
- (7) 複素数とその演算に関する基本事項の理解度と応用する能力を論理的に表現する力とともに問う。
- (8) 媒介変数で表された曲線について、曲線の長さ、座標の最大値、および接線に関する問題をとおして、微分や積分の応用力と論理的な記述力をみる。